

2025点図カレンダー「フルーツはんぶん」

製作にあたって

チャレンジには食いしん坊が多く、日々食べ物のお話で盛り上がっています。特にフルーツはそれぞれに好みがあり、違いを聞くのが楽しいです。バナナやブドウのように包丁を使わずそのまま食べることができるフルーツが人気ようです。それぞれのフルーツの種や芯がどうなっているか知っているかを聞いてみると、興味を持って触ったことはないなあという人もいました。

そこで、今回のカレンダーはフルーツの断面をテーマとすることにしました。果汁や実が柔らかい為、触れてもわかりにくい断面を点図にすることで、視覚に障害のある方たちに新たな発見をお届けできるのではと考えました。

チャレンジではフルーツの研究会を実施。1回目はドライフルーツにして形に触れました。2回目は本物のフルーツの断面と点図を触り比べ、種の位置や皮のつくり等を確認しました。キウイの種の大きさ、りんごの芯など普段は意識していなかったからこそその気づきがありました。

8月下旬に「カレンダー完成披露パーティー」を開催し、当日はお世話になっている地域の皆様をお招きしました。カレンダーの披露に始まり、フルーツbuffetコーナー、ミニ点字ワークショップ、ゲームコーナー等…担当を割り振り運営し、今回のカレンダーの魅力をお伝えしました。

フルーツを囲むと自然と笑顔が溢れるように感じます。このカレンダーを手にとった方に、どうか笑顔が溢れますように。
担当：植田 (2024.09)

